

平成29年度 貫井中学校 学校経営計画・方針

1 教育目標の達成へ

憲法、教育基本法、及びその他法規を遵守し、生徒・保護者の願いを受け止め、本校の教育目標達成のために努力する。

教 育 目 標 ○よく考える人 ○思いやりのある人 ○実践する人
--

2 めざす学校像

- ◇基礎的、基本的な学力をしっかりと身に付ける学校
- ◇一人一人が大切にされる学校
- ◇歌声が響く学校
- ◇健康な体と豊かな心が育つ学校
- ◇保護者や地域の大勢の方々に支持される学校

3 めざす教師像

- ◇常に指導力向上をめざす教師
- ◇生徒を大切に育てる教師
- ◇生徒の心に響く言動ができる教師
- ◇常に危機意識をもってことにあたる教師
- ◇保護者や地域によりよく関わることができる教師

4 育てたい生徒像

- ◇主体的に学び、基礎・基本を身につける生徒
- ◇礼儀を大切にし、あいさつがしっかりできる生徒
- ◇自分も他人も思いやることのできる生徒
- ◇責任を果たし、進んで奉仕する生徒
- ◇夢を抱き、たくましく生きぬく生徒

5 平成28年度の学校評価を踏まえた重点

(1) 学力の向上

- 各教科の学習の振り返りや教材の工夫
- 生徒の質問しやすい雰囲気、環境づくり、声かけ
- 個別面談等の効果的な活用
- 読書啓発と図書室の活用
- 教員の授業力向上を目指した授業研究の充実
- 各教科におけるオリンピック・パラリンピック教育の充実

(2) 健全育成

- 生徒の悩みの受け止めと教育相談活動の充実
- いじめ防止活動のさらなる充実
- 学校と家庭のさらなる連携

(3) キャリア教育

- 学習したことの適切なまとめや発表
- キャリア教育に関する情報発信
- 家庭と連携を密にした進路指導の推進
- オリンピック・パラリンピック教育の推進を通じたボランティアマインドの醸成

(4) 魅力ある開かれた学校づくりの推進

- 保護者・地域の方々への学校参観の呼びかけ
- 各種たよりやホームページ等による情報の発信

(5) 小中一貫教育の推進と小中の連携 (練馬第二小、練馬第三小)

- 小中一貫教育の推進や連携に関する保護者・地域への情報提供
- 小学生の部活動体験・見学の充実

6 平成29年度の重点目標

- (1) 学力の向上
- (2) 健全育成
- (3) キャリア教育の推進
- (4) 魅力ある開かれた学校づくりの推進
- (5) 小中一貫教育の推進と小中の連携

7 短期・中期・長期的な目標と具体的な方策、方法

(1) ◇学力の向上

◎基礎的、基本的な学力の定着と思考力、判断力、表現力の育成

目 標	方 策・方 法
①基礎的、基本的な学力の定着	①基礎・基本を意識した各教科の学習の振り返りと工夫
②個に応じた指導	②各教科の実践〔例：生徒への声かけや聞きやすい環境等〕
③指導と評価の一体化	③適切な評価規準と目標の提示〔年間を通して〕
④学習意欲の向上と習慣の定着	④各教科による意欲を高める指導と助言〔年間を通して〕
⑤教師の指導力向上	⑤「思考力・判断力・表現力の育成」の研究
⑥ガイダンス機能の充実	⑥具体的な学習アドバイス、助言による生徒の意欲向上
⑦質問週間の実施	⑦教務部による各定期考査前の質問週間の設定
⑧夏季学力補充教室	⑧夏休み中の夏季学力〔3教科〕補充教室の実施
⑨読書活動の啓発	⑨図書館支援員を中心に読書月間の実施〔6月、11月〕
⑩オリンピック・パラリンピック教育の推進	⑩各教科の「4×4の取り組み」〔年間を通して〕

(2) ◇健全育成

- ◎人権教育推進といじめ防止活動の一層の充実
- ◎学校と家庭が連携した基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚
- ◎生徒理解と家庭、関係諸機関との連携

目 標	方 策・方 法
①生徒理解	①生徒の悩みの受け止め、学校と家庭の連絡・連携
②基本的生活習慣の確立	②挨拶、服装、時間厳守、授業規律、給食・清掃当番活動
③規範意識の高揚	③日常生活を通じた生活のきまり遵守の意義の説明
④いじめ防止	④悩み相談、生徒会のいじめ一掃プロジェクトへの参加、いじめアンケートと個別対応、PTAとの連携

⑤道徳授業と心の教育の充実 ⑥不登校改善、特別支援教育充実 ⑦報告・連絡・相談・確認の徹底 ⑧生徒会活動の充実 ⑨部活動の充実 ⑩関係諸機関との連携	⑤学年体制での授業、研究授業、道徳授業地区公開講座 ⑥校内委員会の定期的実施、関係諸機関との連携 ⑦情報の迅速な整理と対応（主任や管理職へ） ⑧委員会、各行事、その他 ⑨学校全体の協力体制で支援 ⑩主幹、副校長を中心に
---	--

（３）◇キャリア教育の推進

- ◎「生きる力」の育成と将来を意識できる体験的な学習の推進
- ◎自己肯定感の高揚

目 標	方 策・方 法
①勤労観、社会貢献の気持を育成 ②自己肯定感の高揚 ③面談、相談の充実 ④職場体験学習、上級学校の学び ⑤進路指導資料・情報の整理 ⑥進路説明会の実施 ⑦オリンピック・パラリンピック教育の推進 ⑧ユニバーサルマナー教室	①日常の諸活動（当番、係、委員会）、職場体験学習等 ②生徒の良さを褒める、日常の指導と面談、アドバイス ③生徒情報の整理と伝達（個人の良さ、適性の理解） ④学んだ事や体験した事の整理とまとめ ⑤進路指導担当と学年中心に、年間を通して ⑥進路指導担当と3学年中心 ⑦ボランティアマインドの醸成〔日常、行事、道徳、講演〕 ⑧3年生対象〔卒業期〕

（４）◇魅力ある開かれた学校の推進

- ◎学校と家庭の連携
- ◎保護者の学校公開、授業参観への呼びかけ

目 標	方 策・方 法
①学校公開、保護者会等の充実 ②道徳授業地区公開講座 ③地域行事への参加 ④学校評議員会への教職員の参加 ⑤各種たよりの充実（学級、学年、学校、保健、図書だより等） ⑥学校評価の実施と改善 ⑦ホームページの定期更新と充実 ⑧生徒の発表会等の情報提供	①生徒の学習の成果や情報を伝える内容の充実と工夫 ②全学年による道徳授業と意見交換会の実施、アンケート ③夏祭りのパトロール、育成委員会行事等への参加 ④学校の様子を伝達、情報交換と地域の方々との交流 ⑤各種情報や生徒の頑張りや良さを伝える ⑥生徒・保護者・教員アンケートと学校関係者評価の実施 ⑦授業、行事、その他、部活動を中心に学校情報の発信 ⑧行事、総合の発表について各学年案内、連絡メール

（５）小中一貫教育研究推進と小中の連携

- ◎校種の枠を越えた「地域子どもたち」を育成する協働意識
- ◎小中一貫教育推進や小中の連携について、保護者・地域へ情報提供

目 標	方 策・方 法
①小中一貫教育推進委員会の定期的な実施 ②分科会協議を通じた小中の交流 ③小中相互の授業参観と交流 ④小学生の中学校訪問 ⑤新入生保護者説明会と体験部活動・見学の実施 ⑥小中相互の連携と連絡	①管理職、小中一貫クリエイター中心に ②6月、11月 分科会協議を中心 ③可能な範囲で小中相互の校内研究授業等の参観と交流 ④練馬二小、練馬三小を対象 ⑤教務部と小中一貫クリエイターが中心（10月） ⑥教師間の交流と情報交換

8 都費事務・区費職員の方へ

- (1) 配当予算等の提示、計画及び効率的な予算の執行
- (2) コストの効率化と複数の見積もり
- (3) 情報開示に耐える諸帳簿の整理と点検
- (4) 教職員の福利厚生、給与面等の情報提供
- (5) 生徒の安全を考えた施設設備の点検と迅速な修繕

9 教職員としての職務遂行

つねに貫井中学校というチーム(組織)として行動していることを忘れないでください。個人の言動ではなく、学校の言動として地域や保護者の方々はわれわれ教職員を注目しています。だからこそ、言動その他に責任と自覚をもって、職務を遂行しましょう。

- (1) 教職員のチームとして
 - ①職務を通して自らを伸ばす品位を備えたチーム
 - ②新しい考え方や知恵を出し合い、補い合って協働するチーム
 - ③生徒のことを第一に考える爽やかに活動するチーム
- (2) 個々の自戒として
 - ①人権を尊重した言動
 - ②信用失墜行為は信頼を根底から崩し、学校教育を成り立たなくさせる。
 - ③サービスの厳守

10 保護者の皆様へ

貫井中学校は今年で開校55年目を迎え、地域に根ざし、保護者や地域の方々とともに歴史を積み重ねてきました。これからも地域や家庭から信頼される学校を目指し、教職員が一丸となって、生徒一人ひとりのために努力していきます。今後ご理解やご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

- (1) ご家庭では基本的な生活習慣を大切にし、お子さんの心身の健康管理を進めてください。また、いじめや悩み事等の心配なことは学校と連絡を取り合うなど、学校と家庭の連携を忘れないでください。
- (2) 学力の定着のためには、自学自習による家庭学習の習慣を身につけることが大切です。そのために、電話連絡や面談等の機会を適宜利用しながら学校と家庭で連携を図り、しっかりと家庭学習の習慣を身に付けさせるようにしましょう。
- (3) 保護者会、学校公開日、行事、部活動の練習や大会などには、お子さまの様子を知っていただくためにも可能な限りぜひ出席、参加、応援をお願いいたします。